

① 基本事項

事業名	一般廃棄物処理事業			科目	4	1	4	課名	民生課
								生活環境係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	人と地球にやさしい村づくり			全項目					
施策	ごみの減量化とリサイクルの促進								
事業の目的	村内で発生するごみの減量化を図るため、村民の意識高揚と適切な処分を推進する。また分別の徹底を図る。			事業の目標	ゴミ処分費用 前年比-5%				
					リサイクル資源 前年比+10%				
					ゴミに対する村民意識の高揚				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	もやせるゴミの量(計画値は前年実績)			kg	851,010	854,160	100.4%		
○	リサイクル資源(計画値は前年実績)			kg	223,900	220,005	98.3%		
○	ゴミ減量対策のための地区環境衛生委員研修			回	1	1	100%		
○	ゴミ減量化・資源リサイクル化推進検討会			回	2	2	100%		
○	ゴミ減量化推進廃棄物の決定と実践			種類	3	3	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		72,090千円		67,305千円		
	概算正規職員人件費	0.5人	3,250千円	0.5人	3,250千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.5人	750千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	1.0人	4,000千円	0.5人	3,250千円		
	合計		76,090千円		70,555千円		
		正規職員人件費単価		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	96.5%	69,599千円	95.8%	64,486千円		
	特財 古紙販売代金等	3.5%	2,491千円	4.2%	2,819千円		
	合計	100.0%	72,090千円	100.0%	67,305千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	ごみ(もやせる・プラ)の減量・分別の周知は継続しなければならない。また資源ごみ、その他のごみについても、出し方などの周知・徹底の継続が重要である。				
評価委員評価	公共性	A	ごみの減量や分別等の周知のみではなく、具体的な方法伝達や対策が必要。また、家庭ごみだけでなく、不法投棄やポイ捨て防止のための啓発運動の強化も必要。			
	公平性	B				
	有効性	B				
	効率性	B				
	総合	B				

① 基本事項

事業名	環境公害対策事業			科目	4	1	4	課名	民生課
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	人と地球にやさしい村づくり			全項目					
施策	農村の原風景と環境保全の推進								
事業の目的	村の豊かな自然と環境を守るため、村民意識の高揚と適切な対策を進める			事業の目標	外来植物植生面積の拡大防止 土0 村内河川水質の改善 前年以下 村内における不法投棄 0件				
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率	
○	外来植物対策の周知				回	1	1	100%	
○	外来植物の一斉駆除作業(ニワウルシ175本)				回	10	2	20%	
○	河川水質検査の実施				箇所	7	12	171%	
○	環境美化への啓発活動及び周知と美化作業の実施				回	2	2	100%	
○	村内道路沿線における美化作業の実施				回	1	1	100%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		578千円		590千円
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円
	合計		1,878千円		1,890千円
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	68.3%	395千円	95.6%	564千円
	特財 オイルマット代	31.7%	183千円	4.4%	26千円
	合計	100.0%	578千円	100.0%	590千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	季節ごとに外来植物駆除について広報し、環境に配慮した活動を行った。 外来植物駆除については、その種類と駆除方法について研究を進めていく。		
評価委員評価	公共性	B	外来植物駆除など具体的な対策実施が少ないと判断する。積極的な活動を行い、住民自ら行動を起こす機運醸成が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	C		
	総合	B		